

天草の楽しみ方 ②

個性豊かな陶磁器&天草更紗
お気に入りの雑貨を探しに

200年以上の歴史を持つ天草陶磁器と安土桃山時代に伝来したといわれる天草更紗。旅の記念にぜひ手に入れたい。



天草陶磁器 丸尾焼

⑤天草市北原町3-10 / ☎ 0969-23-9522
<http://www.maruyoyaki.com/>

1. 2. シンプルで美しい器たち。5代目当主の金澤一弘さんが、生活空間を豊かにする陶器を追求。

個性豊かな
天草陶磁器



天草更紗の小物は
旅の記念にぴったり



天草更紗 染元 野のや

⑤天草市佐伊津町2212-2 / ☎ 090-8393-7001
<http://www.sarasa-nonoya.com/>

1. 天草の花鳥風月を表現した小物は土産に最適。2. 「工程は同じことの繰り返しなんですけど、次はどの色にしようかって、いつもワクワクするんです」と染め師の中村さん。3. 築100年の古民家を利用した工房の1階はカフェ。地元食材を使ったスイーツやていねいに手作りのランチが人気。4. 柄に託されたストーリーも興味深い。



2

のどかな漁村の
光景に癒やされる



3



世界遺産候補地 崎津集落

1. 崎津集落からほど近い丘の上にある大江教会も、天草のシンボル。2. 穏やかな入江から眺める崎津教会。3. 漁村を見守る教会。日曜朝にミサが行われ、人々が賑わいます。4. 現存の崎津教会は、禁教令が解かれた後、昭和9年に再建されたもの。

南蛮渡来の天草更紗と
美しい陶磁器を求めて

天 草を旅する楽しみは、散策やグルメばかりではありません。

実は、天草は日本有数の陶石の産地。そして、天草陶石を使った天草陶磁器は、国指定の伝統工芸品にもなっています。現在、天草には30軒以上の窯元がありますが、そのスタイルは実に様ざま。透き通るような白磁器もあれば素朴な風合いの陶器あり、絵付けあり。作り手の個性が反映された陶磁器を探して歩くのは、天草旅行の醍醐味でもあるのです。

天草にある窯元の中でも古い歴史を持つのが、1845年開窯の「丸尾焼」。老舗でありながら、並ぶ器は日常にぴったりと合うものが多く、シヨップに並ぶ器を前に、つい、あれもこれも買いたくなってしまふほど。店内に設けられたカフェコーナーでは、好きな陶磁器のカップを選んでコーヒーを飲むこともできます。

南蛮文化の影響を受けた天草らしいカルチャーといえは、更紗(模様布)。かつて天草には、西洋と地の文化が融合したような柄の更紗があったといえます。訪ねたのは、染元「野のや」。工房では、染め師の中村いずさんが、更紗の製作にいそいそしていました。手がけているのは、昭和半ばに途絶えた天草更紗を復刻させ、現代風のアレンジを加えた「平成の天草更紗」。南蛮渡来の楽器や果物など、天草の情緒を吹き込んだエキゾチックな柄に心が奪われます。手触りが優しく、独特な趣の更紗グッズは、お土産にもぴったりです。